



校訓『誠健勤和』

富良野西中学校

《学校だより》

令和8年7月23日

7月号



樹人

地域に誇りと愛着を！ 校長 加藤 幸一

「道みんの日」というのをご存じでしょうか。実は、7月17日がその「道みんの日」でした。正式名称は「北海道みんなの日（※愛称：道みんの日）」です。北海道のこれまでの歴史や文化、風土を見つめ直し、価値を再認識し、道民一体となってより豊かな北海道を築いていくこと、また、道外から北海道を訪れる方、北海道にゆかりのある方に北海道の魅力を発信する機会となることを目的に、平成29年3月に条例として制定されました。では、なぜ7月17日かということ、幕末から明治時代にかけて活躍した探検家・地理学者である松浦武四郎が明治2年、新政府に「北海道（北加伊道）」の名称を提案した日とされているからです。

現在、学校では、子どもたちが「よりよい社会の創り手」となるべく資質・能力を育むよう教育活動を推進しています。また、富良野市の特性を生かした「キャリア教育」の充実を図り、知・徳・体のバランスの取れた「生きる力（生き抜く力）」の育成にも力を入れております。私は、地域人材や素材を有効活用することで、質の高い教育を子どもたちに提供できると考えています。地域の人たちとの交流を通して、学校や家庭での生活では得られない貴重な体験や経験ができます。さらに、地域社会でのつながりの大切さを知り、家族以外の大人との関わりを通して礼儀や感謝の気持ち、優しさや道徳心、感受性などの豊かな心が育まれると思います。本校の生徒には、改めて地域のよさを知り、地域への誇りと愛着をもってほしいと願っています。進学・進路によっては、この地域を離れてしまう生徒もいると思いますが、将来、富良野沿線地域のために自分は何ができるのか、そのことを主体的に考えられる子どもたちを育てたいと考えています。

麦わら帽子は もう消えた
たんぽの蛙は もう消えた
それでも待ってる 夏休み

姉さん先生 もういない
きれいな先生 もういない
それでも待ってる 夏休み

絵日記つけた 夏休み
花火を買った 夏休み
指おり待った 夏休み

（吉田拓郎「夏休み」より）

27日間の夏休みに入ります。私事で恐縮ですが、私は吉田拓郎の歌「夏休み」が大好きです。左は歌詞の一節です。この歌を聴くと、自分が子どもだった頃の楽しかった夏休みが懐かしく思い出されます。毎日のラジオ体操や朝顔の水やりと観察日記、虫かごと網を手にかブトムシやクワガタを探し回ったこと……。どれも忘れがたい貴重な体験でした。

子どもたちには長期休業にしかできないような体験をしてほしいと思いますし、挑戦する夏休み、有意義な夏休みを過ごしてほしいと思います。また、一日一日を大切に規則正しい生活を送るとともに、事故等に気をつけながら、健康に過ごしてほしいと思います。安全・安心に過ごせるよう、そして夏休み明け元気に登校できるよう、保護者の皆様による声かけや励まし、地域の方々による見守り等をよろしくお願いいたします。



7月の西中

ZERO 運動月別目標
「時間を見て自主的に
行動しよう」

月別 保健目標
「運動と健康を
考えよう！」

一中体連 上川代表決定戦・全道大会

7月3～4日に上川代表決定戦が行われました。以下の部活動等が決定戦に出場しましたが、どの競技においても全力で試合に臨み、ベストを尽くしました。

7月下旬から中体連全道大会がはじまります。富良野西中からは陸上と水泳の2つの競技で大会に出場します。自信をもって堂々と自分の力を発揮してほしいと思います。富良野の地から活躍を願っています。

【男子バレー】

○(2-1)富良野西 vs 六合中

●(0-2)富良野西 vs LEONE

第3位 富良野西・富良野東・上富良野合同

【柔道】

男子個人戦 3位 佐藤さん

準々決勝惜敗 大栗さん

2回戦惜敗 榊さん

女子個人戦 準々決勝惜敗 上坂さん、杉村さん、木村さん

【女子バスケット】

●富良野西 37 vs 忠和中 74

【ソフトテニス部】

女子個人戦 2回戦惜敗 高橋・荒川ペア

【陸上】中体連全道大会7月27日(月)～29日(水)旭川市

中学男子 400m 藤堂さん

中学男子 800m・1500m・3000m 大竹さん

【水泳】中体連全道大会7月24日(金)～7月26日(日)函館市

400m・1500m 自由形 西尾さん

糠谷鉄工所 様 自転車通路転圧 作業ありがとうございました！

これまで、登下校時における保護者の送迎車両と生徒の自転車が正門に集中し、大変危険な状態が続いておりました。そのため、今年度より教育委員会と協議を重ね、テニスコート横に新たな「自転車専用通路」を設置いたしました。

開通当初はもとも道路でなかった場所に砂利を敷設した状態だったため、路面が柔らかく、自転車が通行しにくいという課題があり、CS(コミュニティ・スクール)協議会でも改善に向けてご相談をさせていただいていたところです。

このたび、CS委員である糠谷様がこの課題を快くお引き受けくださり、重機を用いた転圧作業を行ってくださいました。手作業では困難な場所を大変丁寧に整備していただいたおかげで、路面が引き締まり、通行のしやすさが格段に向上いたしました。生徒の安全な登下校のため、温かいご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。



一 租税教室(3年)一

7月22日(水)3校時、3学年社会科の授業で、税理士の吉田孝之様をお迎えして租税教室を実施しました。

生徒たちは、税金の種類や使い道、公共サービスや税金の意義などについて、事例を交えた分かりやすいお話を伺いました。



— 修学旅行発表会（3年） —

7月14日・15日の2日間にわたり、3年生の修学旅行発表会を行いました。保護者の皆様におかれましては、先般の修学旅行における温かい送り出しやご準備に加え、今回の発表会にも足をお運びいただき、重ねて御礼申し上げます。

生徒たちは「EmpathyQuest（共感の探求）」というテーマのもと、事前学習の段階から「自律」とは何かを問い直し、時には激しく意見をぶつけ合いながら、主体的に修学旅行に向き合ってまいりました。ウポポイや函館の地で多様な文化や他者との出会いに触れた生徒たちは、その貴重な体験を自らの糧とするため、徹底した事後学習に取り組んできました。

今回のスライド作成における目標は、「安易な言葉や生成 AI の表現に頼らず、自分の言葉で心の動きを構造化すること」でした。「楽しかった」「疲れた」という一過性の感情や、どこから借りてきたきれいな言葉で飾るのではなく、自分が何に心を揺さぶられ、他者のどのような思いを受け取ったのか。生徒たちは自分の内面と丁寧に向き合い、個別・具体的な「本音のストーリー」を紡ぎ出そうと試行錯誤を重ね、本番では見事な発表を作り上げました。

他者を通じて自分自身への理解を深め、これからの生き方や進路へとつなげていく、生徒たちの「学びの解像度」が上がった瞬間を、多くの保護者の皆様に見届けていただくことができました。ご多忙の折、生徒たちの瑞々しい本音の発表に耳を傾けていただき、誠にありがとうございました。



公立高校説明会

7月21日(火)、公立高校説明会を開催いたしました。今年度は、旭川南高校、上富良野高校、南富良野高校、富良野高校の皆様にお集まりいただき、各校の魅力や特色についてお話しいただきました。

また、同日の18時から「富良野市高等学校説明会」が開催され、こちらにも多数の保護者の皆様にご参加いただきました。富良野高校、南富良野高校、上富良野高校の3校より、学校概要や進路状況などについて詳しい説明をいただきました。

2学期始めの8月31日(月)には富良野高校の体験入学も控えており、いよいよ本格的な進路選択の時期を迎えることとなります。ご家庭におかれましても、折に触れてお子様と将来の展望について話し合う機会を持っていただければ幸いです。興味のある学校の見学会や相談会などへもぜひ親子で足を運び、今後の進路決定の一助としてお役立てください。

時間割 いつでも確認できます

マチコミでもお知らせしておりますが、今年度より、大まかな学校行事や各学年の時間割をアプリ上で共有しております。急な体調不良等による欠席のご連絡や、翌日以降の予定確認などがスムーズに行えますので、ぜひ日々の生活にお役立てください。



前期学校評価 ありがとうございました

明日をもちまして、無事に1学期が終了いたします。今年度は平日開催とした体育大会など、各学校行事の実施にあたり、保護者や地域の皆様から多大なご支援をいただきましたことに深く御礼申し上げます。

先日マチコミにてご協力をお願いいたしました「前期学校評価」アンケートにおきましても、貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございました。

現在、結果の集約・分析を行っており、後日、学校だよりやホームページ等で皆様に公表する予定です。いただいた評価を真摯に受け止め、今後も地域との連携・協働を深めながら、より充実した教育活動の推進に努めてまいります。今後とも変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



子どもの心に寄り添うために ～思春期の葛藤と、家庭でできる心のケア～



1. 家庭での関わり方と「聴く」姿勢

子どもが安心感を得て、自己肯定感を育むために、以下の関わりを意識してみましょう。

- **つながりを生む3つの行動：**「声をかけて認める」「楽しく一緒に過ごす」「簡単な家事(役割)を頼んで感謝する」を続けることで、子どもは自分の大切さを実感します。
- **心配は言葉で伝える：**「いつもと違う」と感じたら、「大丈夫？」「よかったら話してね」と声をかけます。ただし、返事を無理強いしてはいけません。
- **助言や励ましは控える：**安易なアドバイスや「みんな同じよ」という励ましは本人を追い詰めます。まずは黙ってしっかり話を聴き、待つ姿勢が大切です。
- **「助けられ上手」に：**自力で乗り越えることだけでなく、「人に助けを求めること」も生きるために必要なスキルであると伝えていきましょう。



2. 自殺や自傷に傾く子どもの心理を知る

強いストレスを抱えた子どもは、大人が想像する以上に心の視野が狭くなっています。

- **つよい孤立感：**「誰も助けてくれない」「自分なんていないほうがいい」と思い込み、ネット空間に過度に救いを求めたりします。
- **心理的視野狭窄：**苦しみが永遠に続く錯覚に陥り、「死ぬしかない」以外の解決策を考えられなくなります。
- **大人の「当たり前」とのギャップ：**友人との離別や挫折などの「喪失体験」は、大人には些細に見えても、子どもにとっては世界が崩れるほどの苦しみである場合があります。決して軽く扱わず、子どもの立場で受け止めることが大切です。※服薬過多(オーバードーズ)やリストカットなどの自傷行為も、「気を引きたいだけ」と軽視せず、背景にある SOS に目を向ける必要があります。

3. ひとりで抱え込まず、学校へご相談ください

子育ての悩みをひとりで抱え込むと、解決がますます難しくなります。少しでも不安を感じたら、担任、養護教諭、学年主任、あるいはスクールカウンセラーなど、話しやすい職員へいつでもお気軽にご相談ください。

— 長寿命化改修工事 8月末終了予定です —



1年生教室は壁、床、ロッカーが新しくなりました

昨年度よりエアコンが稼働し、快適に過ごすことができております。しかし、体育館や校舎外との寒暖差もあるため、体調管理や熱中症には十分気をつけて活動しています。

今年度は長寿命化改修工事の2年目にあたり、工程も予定通り進んでおります。基本的には、休み時間や放課後に音の出る作業を行うようお願いしていますが、一時的に場所や作業内容によっては教室に音が響くこともあります。学校としても、生徒の学習環境に十分配慮しながら工事を進めてまいります。8月末にはすべての工事が完了する予定です。保護者の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



8/12～8/16は学校閉庁日です。この期間で何かございましたら、富良野市教育委員会教育支援課(TEL:39-2320)にご連絡ください。

8/1	土	北海道吹奏楽コンクール旭川地区予選	8/21	金	2学期始業式、全校集会
8/12	水	学校閉庁日	8/26	水	上教研班研修(午前授業)
～			8/31	月	富良野高体験入学
8/16	日	学校閉庁日	8/31	月	教育実習Ⅰ開始(～9/29)